

MONTHLY LINE UP



山歌

[2022年/日本/77分] 出演: 杉田雷麟、小向なる、飯田基祐、蘭妖子、内田春菊、渋川清彦 監督・脚本・プロデューサー: 笹谷遼平

共に、生きろ。

かつて日本の山々に実在した流浪の民・山窩。財産も戸籍も持たず、ときに蔑まれ、ときに自然の恵みを一身に浴びた。混乱の今、これまでを問い、これからをつくる私たちの物語。

[上映日程] 7/2~8 (休映: 7/4)

7月2日(土)13時50分からの回の上映後、本作の笹谷遼平監督による舞台挨拶があります。



チロヌプカムイオマンテ

[1986年撮影・2021年制作/日本/105分] 監督: 北村智雄 語り: 豊川容子

愛しいキタキツネを、父母の国へ送る

アイヌ民族の知られざる祭祀「チロヌプカムイオマンテ(キタキツネの霊送り)」を記録したドキュメンタリー。1986年、屈斜路湖を望む美幌峠で、75年ぶりに「チロヌプカムイオマンテ」が行われた。狩猟民族であるアイヌの教えでは、動物は自らの肉や毛皮を土産にして人間の国へやって来るとされる。

[上映日程] 7/9~



極北のナヌーク HDリマスター版

[1922年/アメリカ/78分] 監督: ロバート・J・フラハティ

ドキュメンタリーの父ロバート・フラハティ監督(アメリカ1884-1951)作品。カナダ北部、ハドソン湾地域に暮らすイヌイットの一家。彼らの衣食住、過酷な条件下でのその生活の様子をフィルムに収めた記録映画史上不滅の一作。日本では『極北の怪異』のタイトルでも知られている。子ども向け映画教室やワークショップなどの上映作品としても親しまれている。

[上映日程] 7/2~8 (休映: 7/4)

[鑑賞料金] 一般¥1,500/お子様同伴の大人1名¥1,200 その他通常通り



モアナ 南海の歓喜 サウンド版

[1926.1980.2014年/アメリカ/98分] 監督: ロバート・フラハティ 共同監督: フランシス・フラハティ/モニカ・フラハティ

ドキュメンタリーという言葉はこの映画からはじまった!

南太平洋サモア諸島で暮らすルベンガー一家には、モアナという息子がいた。一家は、常食とするタロイモ採りに出かけ、イノシシの通る道に罠を仕掛ける。

[上映日程] 7/2~8 (休映: 7/4)

[鑑賞料金] 一般¥1,500/お子様同伴の大人1名¥1,200 その他通常通り



破戒

[2022年/日本/119分] 原作: 島崎藤村『破戒』 脚本: 加藤正人、木田紀生 監督: 前田和男 出演: 間宮祥太郎、石井杏奈、矢本悠馬、ほか

この戒めを破り明日を生きる

被差別部落出身の瀬川丑松は、自らの出自を隠し通すよう亡き父から強く戒められており、地元から離れた場所にある小学校の教員職に就く。教師としては生徒に慕われながらも、出自を隠すため誰にも心を許さないことに苦しみ、一方で下宿先の土族出身の女性・志保に恋心を寄せていた。やがて、彼の出自について周囲が疑念を抱き始める中、丑松は被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎に心酔していく。

[上映日程] 7/8~

*7月17日(日)13時からの『破戒』(1948/木下恵介)、そしてその直後、14時55分からの『破戒』(2022/前田和男)の上映後、小諸義塾の会長で島崎藤村研究家の柳沢恵二氏と、藤村プロジェクトのドラマトルック宮尾彰氏によるアフタートークを実施します。

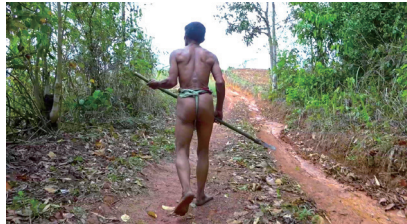


破戒

[1948年/日本/99分] 出演: 池部良、桂木洋子、宇野重吉、菅井一郎、滝沢修 原作: 島崎藤村 監督: 木下恵介

瀬川丑松は千曲川のほとりにある学校で教鞭を取っていたが、自分が被差別部落の出身者であることを隠して生きていた。父の「決して身分を明かしてはならない」という教えを守り、丑松は親友や思いを寄せる女性にさえ、事実を打ち明けられずにいた。代議士の高柳が丑松と同じ被差別部落出身の妻をめとり、丑松に「お互いに秘密を守ろう」と言ってきたが、丑松は「そんな女は知らない」と突っぱねてしまう。

[上映日程] 7/16~



森のムラブリ

インドシナ最後の狩猟民 Mlabri in the Woods

[2019年/日本/ムラブリ語、タイ語、北タイ語、ラオ語、日本語/85分] 監督: 金子遊 出演: 伊藤雄馬

ラオスの森の民が わたしたちに教えてくれること

タイ北部ナーン県にあるフワイヤク村には、およそ300人が暮らすムラブリ族最大のコミュニティがある。男性たちはモン族の畑で日雇い労働者として働き、女性たちは子供を育てながら編み細工の内職などをして暮らしている。言語学者の伊藤雄馬氏はラオスの密林で昔ながらの狩猟採集生活を送るムラブリ族を探しに出る。

[上映日程] 7/16~22 (休映: 7/19)

7月16日(土)と17日(日)の上映後は、本作出演・フィールド言語学者の伊藤雄馬さんが、18日(月祝)の上映後には伊藤雄馬さんと、本作監督の金子遊さんによるトークイベントを予定しています。



カナルタ 螺旋状の夢

[2020年/イギリス・日本/シュアール語・スペイン語/121分] 監督・撮影・録音・編集: 太田光海 出演: セバステリアン・ツアマライン、パストーラ・タンチャー

セバステリアンとパストーラは、エクアドル南部アマゾン熱帯雨林に住むシュアール族。かつて首狩り族として恐れられたシュアール族は、スペインによる植民地化後も武力征服されることがない民族として知られる。口噛み酒を飲み交わしながら日々森に分け入り、生活の糧を得る一方で、彼らはアヤワスカをはじめとする覚醒植物がもたらす「ヴィジョン」や、自ら発見した薬草によって、柔軟に世界を把握していく。

[上映日程] 7/23~29 (休映: 7/25)

*7月23日(土)14時30分からの回の上映後、太田光海監督による舞台挨拶があります。



距ててて

[2021年/日本/78分] 出演: 加藤紗希、豊島晴香、釜口恵太、神田朱未、高羽快、本莊澤、湯川紋子 脚本: 豊島晴香 監督: 加藤紗希

4つのお話、不思議な人々、微妙な空気。

共に俳優として活動する加藤紗希と豊島晴香から成る創作ユニット「点と」が手掛けた4章構成のオムニバス。正反対の性格の女性二人による共同生活の行方と、二人を取り巻く一風変わった人々との日々を描く。「第43回びあフィルムフェスティバル」のPFFアワード2021で観客賞を受賞するなど、数々の映画祭で高い評価を得た。

[上映日程] 7/9~

*7月10日(日)16時40分からの回の上映後、加藤紗希(監督)と、豊島晴香さん(脚本)による舞台挨拶を実施します。



きさらぎ駅

[2022年/日本/82分] 出演: 恒松祐里、本田望結、莉子、寺坂頼我、木原瑠生、芹澤興人、佐藤江梨子 監督: 永江二朗

そこは、たどり着いてはいけない異世界

2004年に「はすみ」と名乗る人物がインターネット掲示板に書き込んで以来、いまだ話題となる都市伝説「きさらぎ駅」をモチーフにしたホラー。民俗学を専攻する女子大生が、異世界の駅の謎に迫る。

[上映日程] 7/16~

7月16日(土)19時40分からの回の上映前、永江二朗監督による舞台挨拶を実施します。



光復

[2021年/日本/129分] R18+ 監督・脚本: 深川栄洋 出演: 宮澤美保、永来正頼、クラウシー京子、関初次郎、池田シン、伊東孝、大場泰正、崔哲浩

暗闇の中に見えた光は、夢か 現か 幻か

大島圭子は生活保護を受けながらアルツハイマーに冒された母の介護をしながら暮らしている。ある日、同級生だった横山賢治と再会し、彼の手を借りながら母の介護をすることになる。

[上映日程] 7/30~

*7月30日(土)14時55分からの回の上映後と、7月31日(日)17時40分からの回の上映後に、深川栄洋監督と本作主演の宮澤美保さんによる舞台挨拶を実施します。



ラストサマーウオーズ

[2022年/日本/80分] 出演: 阿久津慶人、飯尾夢奏、羽鳥心彩、松浦理仁、小山春朋、上田帆乃佳、井上小百合、長妻伶央(TORDER)、デビッド伊東、櫻井淳子 監督・企画・編集: 宮岡太郎

泣いて笑って、ひと夏の冒険が始まる!

小学6年生の内気な少年・陽太は、秘かに思いを寄せていた同級生・明日香が引越すことを知り、ショックを受ける。映画好きな陽太は明日香をヒロインにした映画を作ろうと思いつくが、手伝ってくれそうな友だちはいない。兄や担任の先生に相談に乗ってもらううちに、個性豊かで才能あふれる5人の同級生が仲間に加わり、スマホアプリやSNSなどを駆使して撮影を進めていくが……。

[上映日程] 7/30~

お子様と一緒にぜひどうぞ^^

ムーン 月の守護者の伝説

[2014年/フランス/フランス語・日本語/85分] 監督: アレクサンドル・ヘボヤン、ブノワ・フィリボン 音楽: ブリュノ・クレ 日本語吹替版キャスト: 大橋彩香、武藤志織、小野友樹

ツキも自信もありません。

空想の世界に暮らす、青白くいたずら好きな森の子、ムーン。ひよんなことから、夜を運び、夢の世界を守る『月の守護者』に選ばれたムーンだったが、何をするにも失敗ばかり。そしてとうとう月は失われ、太陽は冥界の王に盗まれてしまった。世界に昼と夜を取り戻すため、ムーンはプライドの高い太陽の守護者ソホーンと、か弱い蟬人形の少女グリム(フランス語版では蟬を意味するシール)と共に旅に出る。これは素晴らしい冒険を経て、ムーンが伝説の守護者となるまでの物語。

[上映日程] 7/2~

[鑑賞料金] 「週末こども映画館」選定作品につき、お子様同伴の大人1名1,200円/その他通常通り

映画 がんねんな いきもの事典

[2022年/日本/91分] キャスト: 花江夏樹、内田真礼、下野紘 ナビゲーター: ムロツシ、伊藤沙莉 原作: 「がんねんないきもの事典」シリーズ(高橋書店刊) 監修: 今泉忠明 【南極編】監督・脚本: ウチヤマユウジ 【オーストラリア編】監督: イワタナオミ 【日本編】監督: 由水桂

ざざっ、がんね〜ん 生きるのって、大変で、楽しい!

「がんねんないきもの事典」とは、いきものに少しでも興味と愛情を持ってもらえるように、あえて残念という言葉を使って、これまでの本ではあまり語られてこなかったいきもの「意外な一面」を紹介している大人気児童書シリーズです。「映画がんねんないきもの事典」は、オーストラリア・南極・日本(長野県安曇野)の3カ所を物語の舞台に、3つのオリジナルストーリーでお届けいたします。

[上映日程] 7/30~8/21 (休映: 8/2、8、15)

[鑑賞料金] 「週末こども映画館」選定作品につき、お子様同伴の大人1名1,200円/その他通常通り